製品名	製造販売業者名	機能区分番号	機能区分名	算定単位	材料価格	適用開始日	特定器材コード	経過措置1 材料価格	経過措置1 適用開始日	経過措置2 材料価格	経過措置2 適用開始日	経過措置3 材料価格	経過措置3 適用開始日	備考
TVC NIRS カテーテル	グッドマン	II-007-(3)	血管内超音波プローブ／近赤外線分光法機能付き	—	132000	2025/06/01	739310016	—	—	—	—	—	—	
Hot AXIOS システム	ポストン・サイエンティフィックジャパン	II-231	消化器用瘻孔形成補綴材留置システム	—	502000	2025/06/01	739310017	—	—	—	—	—	—	
COOK Hemospray 内視鏡的非吸収性止血材	クックメディカルジャパン合同会社	II-232	鉱物由来非吸収性局所止血材	1g当たり	2640	2025/06/01	739310018	—	—	—	—	—	—	

令和7年6月1日より、上記製品が保険収載されました。

II-007 血管内超音波プローブ（厚生労働省発出事項）

赤字：保医発0530第2号／令和7年5月30日にて改正

定義	次のいずれにも該当すること。 1 薬事承認又は認証上、類別が「機械器具（51）医療用嘴管及び体液誘導管」であって、一般的名称が「非中心循環系血管内超音波カテーテル」又は、「中心循環系血管内超音波カテーテル」又は「 中心循環系血管内近赤外線カテーテル 」であること。 2 血管断面の画像診断を目的に使用する超音波トランスデューサが内蔵されたイメージングカテーテルであること。
-----------	---

の機能 考能 え区 分方	血管拡張用のバルーンの有無及び、プローブの口径及び近赤外線分光法機能の有無により、標準（2区分）及び、バルーン付（2区分）及び近赤外線分光法機能付（1区分）の合計 4区分5区分 に区分する。
---------------------------------	--

機能区分番号	機能区分名	償還価格	略称	特定器材コード	機能区分の定義
II-007-(1)-①	標準／太径	52800	—	728490000	次のいずれにも該当すること。 （ア）血管拡張用のバルーンを有しないこと。 （イ）プローブの口径が3.5Frを超えるものであること。
II-007-(1)-②	標準／細径	66500	—	728500000	次のいずれにも該当すること。 （ア）血管拡張用のバルーンを有しないこと。 （イ）プローブの口径が3.5Fr以下のものであること。
II-007-(2)-①	バルーン付／太径	173000	—	728510000	次のいずれにも該当すること。 （ア）血管拡張用のバルーンを有するものであること。 （イ）プローブの口径が3.5Frを超えるものであること。
II-007-(2)-②	バルーン付／細径	183000	—	728520000	次のいずれにも該当すること。 （ア）血管拡張用のバルーンを有するものであること。 （イ）プローブの口径が3.5Fr以下のものであること。
II-007-(3)	近赤外線分光法機能付き	132000	—	739310016	近赤外線分光法を用いて、血管壁の脂質コアプラークを検出し、画像情報を診断する機能を有すること。

留意事項	<p>【II-007 血管内超音波プローブ】</p> <p>(1) 血管内超音波プローブは、一連の検査、画像診断又は手術につき1本のみ算定できる。</p> <p>(2) 血管内超音波プローブのバルーン付・太径又はバルーン付・細径は、当該手技に伴って使用された場合に算定する。</p> <p>(3) 近赤外線分光法機能付は、急性冠症候群であって罹患枝を2つ以上有する患者又は慢性冠症候群であって罹患枝を2つ以上有し、かつ糖尿病、慢性腎臓病、高コレステロール血症のうちいずれか2つ以上を満たす患者に対し、関連学会の定める適正使用指針に従って使用した場合に限り、算定できる。</p> <p>【参考：II-149 血管内光断層撮影用カテーテル】</p> <p>(3) 血管内超音波プローブと血管内光断層撮影用カテーテルを同時に使用した場合は原則としていずれか主たるもののみ算定する。ただし、医学的な必要性から血管内超音波プローブと血管内光断層撮影用カテーテルを同時に算定する場合は、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。</p>
-------------	---

II-231 消化器用瘻孔形成補綴材留置システム（厚生労働省発出事項）

赤字：保医発0530第2号／令和7年5月30日にて改正

定義	<p>次のいずれにも該当すること。</p> <p>(1) 薬事承認又は認証上、類別が「機械器具（51）医療用嘴管及び体液誘導管」であって、一般的名称が「膵臓用瘻孔形成補綴材」及び「経消化管胆道ドレーナージステント」であること。</p> <p>(2) 次のいずれにも該当すること。</p> <p>(ア) 経胃又は経十二指腸的な内視鏡治療により、消化管壁と膵胞壁の間に瘻孔を形成することを目的として使用する膵臓用瘻孔形成補綴材留置システム（デリバリーカテーテルを含む）であること。</p> <p>(イ) 経胃又は経十二指腸的な内視鏡治療により、消化管壁と胆嚢壁の間に瘻孔を形成することを目的として使用する経消化管胆道ドレーナージステント（デリバリーカテーテルを含む）であること。</p> <p>(3) デリバリーカテーテルについては、瘻孔形成部位を穿孔し、当該部位に補綴材を留置する機能を有していること。</p>
----	--

の機能考 え区 分	(該当なし)
-----------------	--------

機能区分番号	機能区分名	償還価格	略称	特定器材コード	機能区分の定義
II-231	消化器用瘻孔形成補綴材留置システム	502000	-	739310017	(該当なし)

留意事項	<p>【II-231 消化器用瘻孔形成補綴材留置システム】</p> <p>消化器用瘻孔形成補綴材留置システムは、関連学会の定める適正使用指針を遵守して使用した場合に限り算定できる。</p>
------	--

II-232 鉍物由来非吸収性局所止血材（厚生労働省発出事項）

赤字：保医発0530第2号／令和7年5月30日にて改正

定義	次のいずれも満たすこと。 (1) 薬事承認又は認証上、類別が「医療用品（4）整形用品」であって、一般の名称が「非吸収性局所止血材」であること。 (2) 内視鏡的に消化管内へ挿入し、非静脈瘤性消化管出血の止血を目的として使用する鉍物由来の非吸収性局所止血材であること。
----	---

の機能 考能 え区 分方	(該当なし)
-----------------------	--------

機能区分番号	機能区分名	償還価格	略称	特定器材コード	機能区分の定義
II-232	鉍物由来非吸収性局所止血材	1g当たり 2640	—	739310018	(該当なし)

留意事項	<p>【II-232 鉍物由来非吸収性局所止血材】</p> (1) 鉍物由来非吸収性局所止血材は、消化器内視鏡的止血術において、関連学会の定める適正使用指針に従って使用した場合に限り算定できる。なお、使用に当たっては、その医学的必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。 (2) 鉍物由来非吸収性局所止血材は、1回の手術に対し原則として20gまで算定できる。1回の手術で20gを超える量を使用する場合は、その医学的必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。 (3) 鉍物由来非吸収性局所止血材は、消化器内視鏡検査（生検を実施する場合を含む。）において使用した場合は算定できない。 (4) デリバリーシステムの費用は本区分の材料価格に含まれる。
------	--